

## ソロモン諸島

## 主要データ

国名〔英名〕	ソロモン諸島〔Solomon Islands〕
面積 (km <sup>2</sup> )	28,896
海岸線延長 (km)	5,313
人口 (人)	635,027
人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	22.0
GDP (十億 US\$)	1.22
一人当り GDP (US\$)	1,918.03
主要鉱産物：鉱石	金
主要鉱産物：地金	金
鉱業管轄官庁	Ministry of Mines, Energy and Rural Electrification
鉱業関連政府機関	Ministry of Commerce, Industries, Labor and Immigration
鉱業法	Mines and Minerals Act 1990 (1996、2008 及び 2014 年に改正) Mines and Minerals Regulation 1996 (1999、2010 及び 2011 年に改正)
ロイヤルティ	有 (Mines and Minerals Act 1990)
外資法	Companies Act 2009 Foreign Investment Act 2005
環境規制法 (環境影響調査制度、 環境・排出基準の有無等)	Environment Act 1998
鉱業公社	なし
鉱業活動中の民間企業	SolGold、Axiom Mining
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、 労働争議、環境問題等)	SMM Solomon 社が国際入札で落札したニッケル鉱区の探鉱権がソロモン諸島政府によって取り消され、オーストラリアのジュニア企業 Axiom Mining 社へ付与された。SMM Solomon 社は処分の取り消しを求める訴訟を提起した。
2016 年のトピックス	ニッケル鉱区の探鉱権落札をソロモン諸島政府に取り消されたため訴訟を起こしていた SMM Solomon 社は第 1 審での敗訴を受けて上訴していたが、2016 年 3 月、上訴裁判所の判決においても落札の取消しの無効化は認められなかった。

## 1. 鉱業一般概況

近年まで、ソロモン諸島で操業を行っていた鉱山はガダルカナル島の Gold Ridge 金鉱山のみである。Gold Ridge 鉱山は Ross Mining 社（最初のオーナー）が 1998 年に操業を開始したが、部族間紛争が生じ、2000 年 6 月に操業を放棄した。その後、国際競争入札を経て、2005 年 5 月に Australian Solomons Gold (ASG) 社が権益を獲得し、さらに Allied Gold (AG) 社が 2009 年に ASG 社を買収した。AG 社は 2010 年末に同鉱山を再稼働させたが、2012 年 9 月、St Barbara 社に完全買収された。2014 年 4 月、長雨とサイクロンの影響による被害（アクセス道路の寸断、鉱山の安全性確保の困難）により、操業を停止。操業停止中の 2014 年 6 月に不法採掘者が鉱山を占拠した事から、2014 年 8 月 St Barbara 社は操業再開は困難として安全保安要員を除く全従業員を退避させると同時に、同鉱山売却の方針を決定した。

2015年5月、St Barbara社は同鉱山を地元企業 GoldRidge Community Investment Ltd. (GCIL) 社に売却した。その後、オーストラリアの Frontier Resources 社が GCIL 社に対して 80%の権益買収を提示したものの、合意に至らなかった。

2017年5月の段階で Gold Ridge 金鉱山の再稼働に向けて、GCIL 社は中国企業傘下の豪州のデベロッパー企業である AXF Group 社と共に、地元の土地所有者及び政府関係者との間で協議を実施している。AXF Group 社では 2018 年末までに同鉱山を再稼働させることを計画している。地元メディアによれば、同鉱山の再稼働はソロモン諸島政府における大きな政策的目標とされており、企業関係者、土地所有者及び政府関係者はロイヤルティ、安全性、環境影響、収入の分配、住民の移転などについて協議を行っている。

探鉱に関しては、SolGold 社が金及び銅金鉱床を対象とした探鉱をガダルカナル島・ファウロ島で実施しているが、このうちファウロ島の探鉱については 2015 年に鉱区を放棄した。金・銅以外の鉱種では、SMM Solomon 社及び Axiom Mining 社がラテライト型ニッケル・コバルト鉱床の探鉱活動を行っている。

2014年にソロモン諸島の鉱業法改正が行われ、金、銀、銅、ニッケル、ボーキサイト、鉄鉱石のロイヤルティの見直し（採取時の総価値の 3%）等が行われた。

## 2. 鉱業政策の主な動き

特になし。

## 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

### (1) 主要金属鉱石生産量

データなし

### (2) 主要金属地金生産量

データなし

### (3) 主要金属消費量

データなし

### (4) 主要金属輸出量

鉱種	2014年 (千t)	2015年 (千t)	2016年 (千t)	対前年増減比 (%)	主な輸入相手国
アルミニウム ボーキサイト	0.0	278.4	233.0	-16.3	中国

### (5) 主要金属輸入量

鉱種	2014年 (千t)	2015年 (千t)	2016年 (千t)	対前年増減比 (%)	主な輸入相手国
マンガン 鉱石	44.2	0.0	0.0	-	南アフリカ

(出典) : International Trade Centre

## 4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量(oz)	備考
Gold Ridge	GCIL (100)	金	-	2014年4月以降操業停止中。

## 5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱プロジェクト

案件名	権益所有企業 (権益%)	鉱種	探鉱 段階	場所	備考
Guadalcanal Regional -Kuma -Mbetilonga	SolGold (100)	銅 金	初期	Guadalcanal 島 Honiala 南東 30km	2013年6月、Newmont Mining 社と SolGold 社との JV 契約 終了。 同鉱区の転石試料から Au 13.5g/t、Cu 11.7%確認。 2016年は特段の進展なし。従 前保有していた Lower Koloula 鉱区と Malukuna 鉱 区は 2014/2015 年度に放棄。 2017年2月に Mbetilonga 鉱 区の探鉱権を申請。
West Guadalcanal	Axiom Mining (100)	金 銅	初期	Guadalcanal 島	Taho Prospect におけるトレ ンチ調査の結果、30m@ 1.82g/t Au(3m@ 14.76g/t Au を含む)の鉱化帯を確認。 2014年、探鉱権を取得。同年 中に、1,529mのボーリング調 査と空中磁気調査を実施。 2017年5月、探鉱権の延長の 認可取得。
Isabel Nickel	Axiom Mining (80) Local Landowners (20)	ニッケル コバルト	後期	Santa Isabel 島 南東部及び San Jorge 島	FSを完成させるためのボー リング調査等を実施中。推 定資源量 480 万 t (Ni 1.3%、 Co 0.08%)。2016年3月に SMM Solomon 社との国際鉱区 入札に係る上訴裁判所の判 決の際に Isabel Nickel の うち Santa Isabel 島の Kolosori の鉱区の探鉱権が 無効とされたことから現在 再度探鉱権申請中。San Jorge 島の鉱区では 2016 年 9 月から 2,500m のボーリン グ実施。2017年4月、ボー リングのフェーズ1の場所 から 500m 南東の地域におい て Ni 2~3.58%のサブライ トを地表サンプリング。
Choiseul East	SMM Solomon (100)	ニッケル	後期	Choiseul 島南 東部	Choiseul East は 2012 年 まで探鉱実施。2017年8月、 SMM Solomon 社の Choiseul East 鉱区からの撤退が発表 された。

Santa Isabel East	SMM Solomon (100)	ニッケル	後期	Santa Isabel 島 南東部	SMM Solomon 社は Santa Isabel East の国際入札鉱区の落札の取消しに異議を唱えて係争中であったが、2016年3月、上訴裁判所において落札取消しの無効化は認められず 2017年8月、SMM Solomon 社の Santa Isabel 鉱区からの撤退が発表された。
-------------------	-------------------	------	----	-----------------------	--

(出典：各社 HP)



図 1. 主要鉱山・プロジェクト位置図

## 6. 我が国との関係

### (1) 日本への輸出

データなし

### (2) 日本企業による投資状況等

2010年2月22日、住友金属鉱山(SMM)はソロモン諸島国のニッケル探鉱事業を推進することを目的に、住友ソロモン探鉱(Sumiko Solomon Exploration)社を設立。同社は子会社(SMM Solomon社)を通じて、2005年からチョイスル島とサンタ・イサベル島でニッケルの探鉱活動を行い、2010年12月に既存鉱区に加えて、サンタ・イサベル島で3鉱区(サンジョージ、タカタ、ジェジェボ)の探鉱権を国際競争入札で落札した。しかし、当該3鉱区については2011年4月、ソロモン諸島政府から当該落札権を一方的に取り消され、サンジョージとタカタの2鉱区が国際入札に参加していない豪州の探鉱会社Axiom Mining社の子会社Axiom KB社へ付与された。その後ジェジェボ

鉱区のみが SMM Solomon 社に付与された。本件を巡り、SMM Solomon 社はソロモン諸島政府および Axiom KB 社等を相手とした処分取り消しを求める訴訟を提起した。2013 年 10 月、ソロモン諸島国の第 1 審裁判所である高等法院 (High Court) で審理が開始されたが、2014 年 9 月 SMM Solomon 社の請求を棄却する判決が下された。

SMM Solomon 社は判決を不服として 2014 年 10 月に上訴を行ったが、2016 年 3 月、上訴裁判所の判決において Axiom KB 社への鉱区の付与は取り消されたものの SMM Solomon 社の落札取消しの無効化は認められなかった。この上訴裁判所の判決は 2017 年 3 月に確定した。

SMM 社は、訴訟の間のニッケル価格の低迷と今後の市場の予測、確定判決、探鉱結果等を総合的に検討した結果、プロジェクトの推進は困難であるとして、2017 年 8 月、プロジェクトからの撤退を決定した。これにより SMM Solomon 社が申請中のすべての採掘権の出願を取り下げ、残存業務を除き、今後の活動を停止すると発表した。

## 7. その他トピックス

### ・ Iron Mountain Mining (現 : Pacific Bauxite) 社がボーキサイトの探鉱の権益取得

2016 年 3 月、Iron Mountain Mining 社 (IMM 社 : 2016 年 12 月に「Pacific Bauxite 社」に社名変更) は、Au Capital Mining (ACM) 社が権益を有する Nendo 島と Choiseul 島の 2 か所のボーキサイトの探鉱プロジェクトのうち、50%分の権益取得のオプション権を得る契約を締結したと発表した。IMM 社が初めに ACM 社に 10 万 A\$ を支払い、探査の結果 50%の権益取得のオプション権を行使することを判断した場合、自社株 2,000 万株を ACM 社に対して発行する等の契約で、その後、同年 9 月 27 日、IMM 社は 2,000 万株の株式を ACM 社向けに発行し、この 2 か所のボーキサイトプロジェクトの 50%分の権益を取得したことを発表した。Nendo 島のプロジェクトでは広範囲にわたり高品位のボーキサイトの鉱化が確認されている。

### ・ Pacific Bauxite 社のボーキサイトの探鉱の実施に環境保護団体が反対

2017 年 7 月、ソロモン諸島の環境保護団体が Temotu 州において Pacific Bauxite 社によるボーキサイトの探鉱活動に反対し政府に対して訴訟を起こす計画であると報じられた。Pacific Bauxite 社は、Temotu 州の Santa Cruz 諸島において探鉱を実施するため探鉱権を取得し土地保有者からも同意を得たと主張しているが、環境保護団体の Temotu 保護・持続的開発協会は、同意を得たとする土地保有者は何が起きるのかを理解していなかったとして、その多くは合意を撤回しようとしていると述べている。同協会会長は、中央や地方政府が土地保有者達の懸念に対して何も実施しておらず、Pacific Bauxite 社の探鉱権も法律に従って付与されていないとして、政府に対して訴訟を起こすことを計画だと述べている。

(2017. 9. 30 シドニー事務所 山下 宜範)